

長野市商工業振興・雇用促進計画

【概要版】

商工観光部産業政策課

産業振興に関する計画のあり方について

○現行(H19～28年度)

上位計画

第四次総合計画

中間計画
(産業間連携・協働)

産業振興
ビジョン

個別計画

商業環境
形成指針

観光振興
計画

森林整備
計画

農業振興地域
整備計画
(土地利用計画)

○H29年度以降

上位計画

第五次総合計画
まち・ひと・しごと創
生総合戦略

個別計画

商工業振興・雇用
促進計画

観光振興計画

森林整備計画

農業振興アク
シヨンプランなど

※「産業振興ビジョン」の要素(産業間連携による発展)は上位計画や個別計画に継承

長野市商工業振興・雇用促進計画は、「第五次長野市総合計画」における商工業振興及び雇用促進に関する分野別計画として位置付けるものです。

他の個別計画等とも整合性を確保しながら、本市の商工業の振興及び雇用促進に関する方向性並びに産業横断的な視点を具体的な戦略として示します。

第五次総合計画

| | |
|-------------------------|---|
| ●理想とするまちの将来 | 幸せ実感都市『ながの』 ~“オールながの”で未来を創造しよう~ |
| ●産業・経済分野 施策の大綱 目指す方向 | 分野6 産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」 多様化するニーズに対応した持続可能な産業の実現 |

政策1. 魅力を活かした観光の振興

政策2. 活力ある農林業の振興

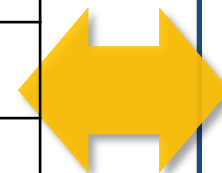
政策3. 特色を活かした商工業の振興

政策4. 安定した就労の促進



長野市商工業振興・雇用促進計画

| 計画期間 | 平成29年度～平成33年度 (5年間) | |
|------|---------------------|------------------------|
| 第1編 | 策定の趣旨 | 第4編 行動計画 (商業・工業・雇用) |
| 第2編 | 長野市を取り巻く 情勢と課題 | 第5編 戦略プロジェクト |
| 第3編 | 目指すべき方向 | 第6編 計画の推進に向けて |



他の個別計画

第五次総合計画におけるまちの将来像や目指す状態、産業・経済分野のまちづくりの基本方針を踏まえ、本市の商工業・雇用の将来像を定めます。

目指す状態(第五次総合計画より)

- ◎足腰の強い工業生産や商業活動が展開され、地域外からの利益が取り込まれている。
- ◎地域ごとにある様々な特性を活かし、商工業に活気があり、まちににぎわいが出ている。
- ◎新製品・新技術が開発され、企業活動が活性化している。
- ◎起業・創業、企業の誘致により新たな雇用が生まれている。
- ◎企業の特長や求人に関する情報が容易に入手でき、就労が促進されている。
- ◎中小企業の福利厚生や研修の機会が確保され、勤労者がいきいきと働いている。

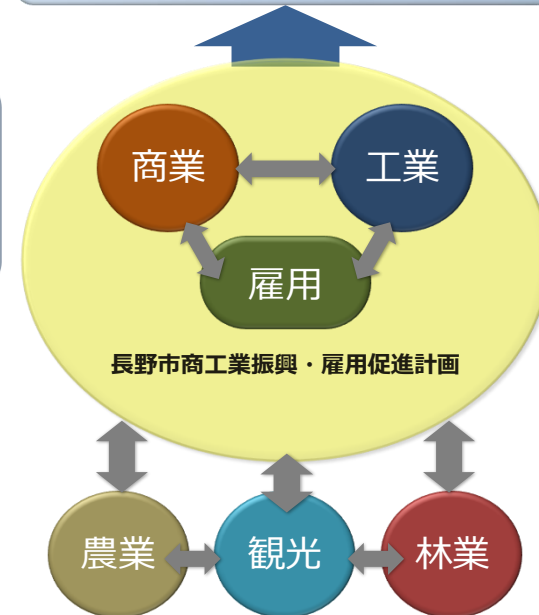
【本市の商工業・雇用の将来像】

**活力ある商工業の連携が賑わいを生み、
多様な働き方ができるまち『ながの』**

商工業における既存の産業基盤を強化し、地域の特性を生かした強みを伸長するとともに、新たな活力を創造します。また、担い手を育成し、持続的発展に向けた就労支援の充実を図りながら、商工業・雇用の組織・分野を超えた産業間・事業者間の連携を強化することで相乗効果を高め、活力と賑わいのあふれるまち「ながの」を目指します。

【本市の商工業・雇用の将来像】

活力ある商工業の連携が賑わいを生み、
多様な働き方ができるまち『ながの』



将来像を実現するために、第五次総合計画で体系付けされた施策体系を基本にして、商業・工業・雇用各分野における現状と課題を整理し、商工業振興・雇用促進計画の【基本方針】を定めます。

また、各分野を横断する【戦略プロジェクト】を設定し、課題の解決に向け重点的に取り組むことで、施策効果を高めていきます。

【第五次総合計画 施策体系】

政策3 特色を活かした商工業の振興

施策1
商工業の強化と環境整備の促進

施策2
地域の特性が光る商工業の推進

施策3
新たな活力につながる産業の創出

政策4 安定した就労の促進

施策1
就労の促進と多様な働き方の支援

施策2
勤労者福祉の推進

商業・工業・雇用の現状と課題を整理

【商工業振興・雇用促進計画基本方針】

【商業1-1】 持続する商業環境の整備と経営基盤の強化

【工業2-1】 ものづくり産業の足腰強化と環境の整備

【商業1-2】 地域の特長を生かした商業の展開

【工業2-2】 地域の特性が光るための取組

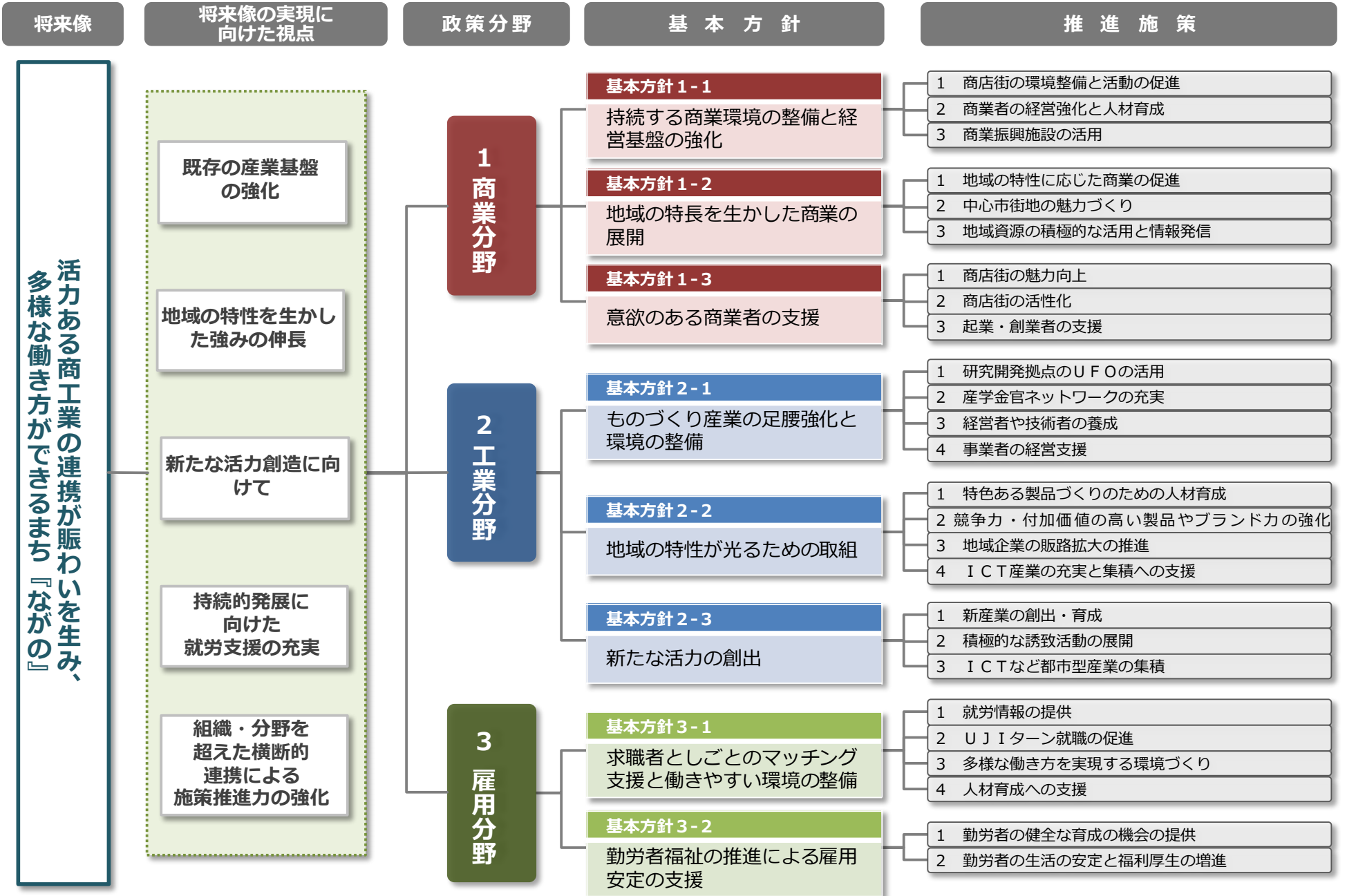
【商業1-3】 意欲のある事業者の支援

【工業2-3】 新たな活力の創出

【雇用3-1】 求職者としごとのマッチング支援と働きやすい環境の整備

【雇用3-2】 勤労者福祉の推進による雇用安定の支援

【戦略プロジェクト ①～④】



| 基本方針 | 現状・課題 | 取組の方向性 | 主な事業例 |
|------------------------------------|---|--|---|
| 基本方針1-1 持続する商業環境の整備 と経営基盤の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元滞留率低下と商圏人口の減少 ・ 年間商品販売額が減少傾向 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街の環境整備と活動の促進 ・ 商業者の経営強化と人材育成 ・ 商業振興施設の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街環境の整備事業 ・ 中小企業振興資金の融資 ・ 商工団体の育成 |
| 基本方針1-2 地域の特長を生かした商 業の展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少に伴い、コンパクトな商業環境の形成が必要 ・ 市外の複合商業施設の影響力 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の特性に応じた商業の促進 ・ 都市の顔である中心市街地の魅力づくり ・ 地域資源の活用と情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の新たな魅力づくり ・ NAGANO フードプロモーションの実施 |
| 基本方針1-3 意欲のある商業者の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営者の高齢化や空き店舗など様々な課題 ・ 地元の商店や商店街への期待 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街の魅力向上と活性化 ・ 起業、創業者の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街魅力アップ支援事業の補助 ・ 空き店舗等活用事業の補助 ・ 実践起業塾の開催 |

【商業分野の指標】

| 指標名 | 内容 | 現状値 (H27年度) | 目標値 (H33年度) |
|-----------------------|---|------------------|----------------|
| 年間商品販売額 (小売業) | 商業統計調査又は経済センサスによる市内の小売業の年間商品販売額 | 4,290億円 (H26) | 4,290億円 |
| まちなかパーキング 利用者数(年間) | 長野地区中心市街地における長野まちなかパーキングの共通駐車サービス券の回収枚数 | 267,197枚 | 333,000枚 |
| 中心市街地歩行者通行量 (1日間) | 大門駐車場、権堂町、権堂大通り、長野銀座、南千歳町及び末広町6地点における歩行者及び自転車の1日間の通行者の数 | 106,143人 | 126,000人 |
| 空き店舗等活用事業 利用件数(累計) | 空き店舗等活用事業により出店した件数 (H12年度からの累計) | 135件 | 195件 |
| 実践起業塾の卒業者の 創業数(累計) | 実践起業塾の卒業者のうち創業した者の数 (H22年度からの累計) | 22人 | 58人 |

| 基本方針 | 現状・課題 | 取組の方向性 | 主な事業例 |
|-------------------------------|--|--|---|
| 基本方針2-1 ものづくり産業の足腰強化と環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 製造業の労働生産性が全国に比べ低位 ・ 産学官の中核拠点「長野市ものづくり支援センター（UFO NAGANO）」を活用できている企業は少数 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究開発拠点UFO NAGANOの活用 ・ 産学金官のネットワークの充実 ・ 中小企業の若手経営者や技術者の養成 ・ 事業者の経営支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・ UFO NAGANOの管理・運営 ・ 高等教育機関や金融機関との連携 ・ 事業所等設置事業の補助 |
| 基本方針2-2 地域の特性が光るための取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「信州みそ」や「戸隠そば」のように認知度の高い食品の存在 ・ ICT関連事業者が集積 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 付加価値の高い製品づくりやブランド力の強化、人材育成 ・ 地域企業の販路拡大の推進 ・ ICT産業の更なる充実と集積への支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ながのブランド郷土食事業の実施 ・ ものづくり研究開発支援事業の補助 ・ ICT産業誘致・起業への取組 |
| 基本方針2-3 新たな活力の創出 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術革新やICTの導入と活用への期待 ・ 工業団地の空き区画が残りわずかで、大規模な工場を数多く誘致することが困難 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新産業の創出、育成 ・ 企業集積のための積極的な誘致活動の展開 ・ ICTなど都市型産業の集積 | <ul style="list-style-type: none"> ・ バイオマス資源利活用事業の実施 ・ 新たな産業用地の確保 ・ 若者未来創造スペース事業の実施 |

【工業分野の指標】

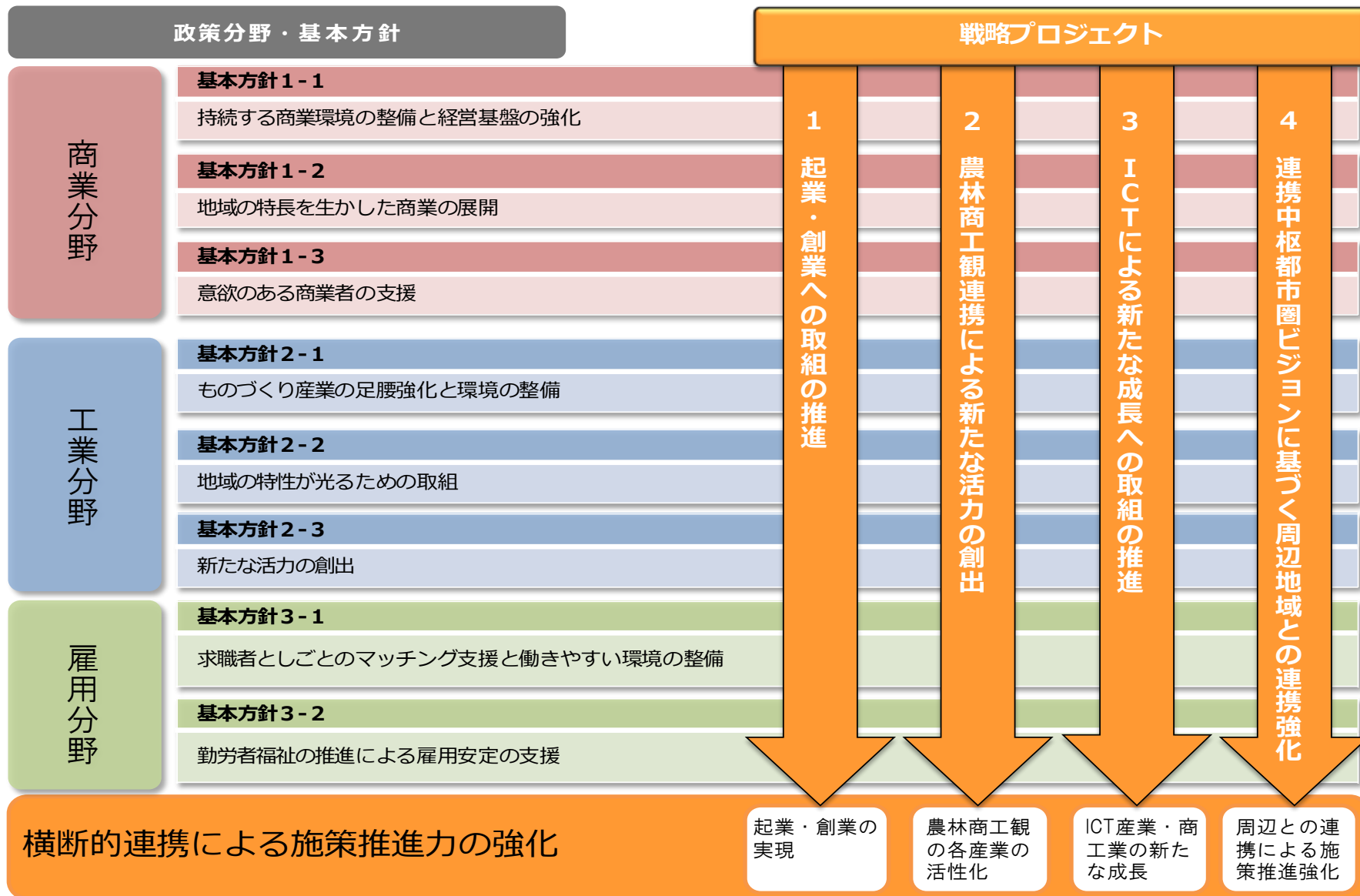
| 指標名 | 内容 | 現状値 (H27年度) | 目標値 (H33年度) |
|----------------------------|--|------------------|----------------|
| 製造品出荷額等(年) | 工業統計調査又は経済センサスによる市内の従業者4人以上の事業所の年間製造品出荷額等 | 4,388億円 (H26) | 4,575億円 |
| 大学等と共同で新技術・新製品の開発を行う件数(累計) | 長野市ものづくり研究開発事業の選定を経て、大学等と共同開発を行う事業の延べ件数 (H17年度からの累計) | 29件 | 47件 |
| 産業フェアへの来場者数 | 産業フェアへの年間の来場者数 | 13,204人 | 16,000人 |
| 雇用創出人数(累計) | 雇用創出企業立地支援事業助成金における雇用創出人数とオフィス家賃等補助事業助成金等における雇用者数(新設・転入事業所分)の合計の数 (H25年度からの累計) | 162人 | 460人 |
| 企業誘致成功件数(累計) | 誘致した企業の延べ件数 (H20年度からの累計) | 46件 | 76件 |

| 基本方針 | 現状・課題 | 取組の方向性 | 主な事業例 |
|---------------------------------------|--|--|---|
| 基本方針3-1 求職者としごとのマッチング支援と働きやすい環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 生産年齢人口の減少に伴う労働力不足の懸念 求人と求職者の不一致 若者の市外への流出超過とその後の流入数の減少 | <ul style="list-style-type: none"> 就労情報の提供 UJIターン就職の促進 多様な働き方を実現する環境づくり 離職防止のための人材育成への支援 | <ul style="list-style-type: none"> 「おしごとながの」の運営 UJIターン就職促進事業の実施 人材育成研修等の開催 テレワークの促進 |
| 基本方針3-2 勤労者福祉の推進による雇用安定の支援 | <ul style="list-style-type: none"> 働く人の安心感につながる取組や、心身ともに健康で働くことのできる雇用環境の整備が必要 | <ul style="list-style-type: none"> 勤労者の健全な育成の機会の提供 勤労者の生活の安定と福利厚生増進 | <ul style="list-style-type: none"> 勤労者福祉講座等の提供 長野市勤労者共済会の補助 勤労者生活資金の融資 |

【雇用分野の指標】

| 指標名 | 内容 | 現状値 (H27年度) | 目標値 (H33年度) |
|----------------------------|--|----------------|----------------|
| 就職情報サイト「おしごとながの」セッション数(年間) | 就職情報サイト「おしごとながの」のサイトのセッション数 | 41,253回 | 62,000回 |
| UJIターン就職促進事業の参加者数(累計) | ワークショップ、合同説明会、合同面接会、企業見学ツアー等の年間の参加者の数(H28年度からの累計) | — | 990人 |
| 女性再就職支援セミナー参加者数(累計) | ママたちのお仕事フェスタの年間の参加者の数(H25年度からの累計) | 220人 | 700人 |
| インターンシップ受入募集事業所数 | 就職情報サイト「おしごとながの」に掲載している事業所で、インターンシップを募集している事業所数(3月末時点) | 29事業所 | 65事業所 |
| 長野市勤労者共済会への加入者割合 | 市内の中小企業勤労者数に占める長野市勤労者共済会の会員数の割合(4月末時点) | 10.9% | 11.0% |

商業・工業・雇用の各分野を横断し、優先的・重点的に取り組むテーマを4つの【戦略プロジェクト】として設定し、課題の解決に向けた施策効果を高めていきます。



| 戦略プロジェクト | 背景 | 取組の方向性 |
|----------------------------|---|--|
| ①起業・創業への取組の推進 | 起業・創業は、地域に新たな雇用機会を創出するほか、既存の事業者との連携により新たな付加価値を生み出すなど、地域経済の持続的な発展のうえでとても重要です。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 商工団体や金融機関等と連携しながら、新たなビジネス分野へ挑戦する意欲と独自性を持った起業・創業者の育成支援を図ります。 |
| ②農林商工観連携による新たな活力の創出 | 観光や農業、林業など他分野との連携は、新たな商品やサービス、技術の開発へとつながり、新たな活力の創出を促進します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 食のブランド力を生かし、産学官連携のもと商品の高付加価値化に取り組みます。 ・ 地域の魅力と共に地場製品の良さを県外や海外へ情報発信します。 |
| ③ICTによる新たな成長への取組の推進 | 近年、IoT・ビッグデータ・AI（人工知能）などのICTの進展は目覚しく、それらを担うICT産業は、今後の成長産業といえます。また、ICTとの連携により、様々な産業の成長が期待され、幅広い観点から地域経済活性化に向けた効果が期待されます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT産業の誘致・集積に向け、誘致体制の強化や起業促進、教育の充実に取り組みます。 ・ ICTが他の分野と結びつくことで、商工業の新たな成長や就労促進につなげていきます。 |
| ④連携中枢都市圏ビジョンに基づく周辺地域との連携強化 | 商業・工業・雇用それぞれの分野に新たな活力を生むためには、地域の特色（地元産品、地元の技術、地元の企業など）を周辺地域と一体となって積極的に外部に発信し、取引やマッチングにつなげていくことが必要です。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 求職者の利便性を向上させ、就業の促進効果を高め、UJIターンの更なる強化を図ります。 ・ 企業の技術や製品を合わせて発信することで、地域外への発信効果を高め、取引や連携を促進します。 |